

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	南総部会「森のめぐみキノコ観察会」		
開催日時	2021年10月9日(土) 10時～14時		
開催場所	君津市、清和県民の森	一般参加者	4名

活動概要

清和県民の森のイベントであるキノコの観察会を行った。昨年は雨で中止となり、今年は晴れであったが、季節外れの暑さと少雨が続き、キノコの発生が少なく、参加申し込み者には事前にその旨を連絡し、それでも参加したいという方、4名での開催となった。

林道を歩き、広葉樹混じりの杉林を展望台に向かった。予想通り、キノコの発生はあまりなく、沢筋の落ち葉上にカレバタケ類が見られるくらいであった。登って行くと、いわゆるサルノコシカケの仲間の鮮やかなオレンジ色のヒイロタケやニクウスバタケが枯れ木に群生していた。展望台で小休憩を取り、尾根道を歩きながらキノコを探した。途中、ナラタケやフウセンタケの仲間も見られたが、道脇にモミタケが出ており、歓声があがった。出発地の「木のふるさと館」の方へもどり、車道を渡り、川の方降り、平坦な雑木林でさらにキノコを探した。やや古くなったキノコが多かったが、ホウキタケの仲間や、キシメジの仲間、アミタケ類などが見られた。暑さが続いていたため、秋のキノコの発生はこれからというところであり、夏のキノコであるコテングタケモドキなどのテングタケ類も発生していた。

キノコの発生は少なかったが、20種ほどのキノコも見られ、特に大型で食用のモミタケがあり、参加者も満足されたようである。



F I C講師：神子秀男、石松成子、福村英俊、平尾信三